石巻ライオンズクラブより礼状が届きました

当クラブで昨年実施しましたチャリティーの募金・益金の中から石巻市の学校に対し２０万円を寄贈しましたが、この度、石巻ライオンズクラブからアクティビティの実施報告が届きました。

これは、別紙新聞記事の内容の通りですが、市内の小学校に対し、運動用具、図書整備資金として寄贈したとのことでありました。

平成２３年１０月吉日

ライオンズクラブ国際協会３３１－Ａ地区
第５Ｒ　第１Ｚ　滝川ライオンズクラブ　様

ライオンズクラブ国際協会３３２－Ｃ地区
第４Ｒ第１Ｚ　石巻ライオンズクラブ
会　長　Ｌ　片岡　章記

御　　礼

拝啓　秋冷の候、皆様にはおかれましては、お変わりなくお過ごしのこととお慶び申し上げます。

この度、滝川ＬＣはじめ静岡けやきＬＣ・太田西ＬＣ・東京麻布ＬＣ・高松栗林ＬＣの計５クラブの皆様からのご支援により青少年育成災害合同アクティビティとして石巻市教育委員会を通じ被災小学校１０校へ体育用品・図書購入費と致し各校へ２５万円の贈呈式を太田西ＬＣ会長他７名と石巻ＬＣ会長他６名、被災小学校４校（門脇・湊・湊第２・渡波小学校）の代表者へ寄贈することが出来ましたことに御礼を申し上げます。

震災より７ヶ月が過ぎてもまだまだ「復興」はもとより「復旧」の言葉さえ感じられない状況にあります。親を亡くし、学校で津波を体験した子供たちも多くありません。今後も子供たちが被災前と同じように学校生活を送れるよう支援をつづけて行きたいと思います。

当クラブも貴クラブの皆様から頂戴致しましたご支援を糧として会員一同、一歩一歩出来ることから確実に歩み、活動をお伝えできる機会が持てる様これからも努力いたす所存です。

重ねて今回の貴クラブよりのご支援力に深く感謝申し上げます。

末筆となりましたが皆様には時節柄お身体にはくれぐれもご留意召されるようご祈念申し上げ、御礼とさせて頂きます。

敬具

石巻かほく新聞に掲載されました。
複数のライオンズクラブからの支援もあり、内容も充実したようです。
また、クラブメンバーも被災しており、そのなかでのアクティビティだったので、この時期となったとの話がありました。
今後の更なる活躍と一日でも早い復興をお祈りする次第であります。

石　巻　か　ほ　く

平成２３年(2011年)１０月１６日　(日曜日)

被災10小学校支援

ライオンズ6クラブ 運動用具など寄贈

石巻

目録を手渡す片岡会長（右）＝石巻市教育委員会

石巻ライオンズクラブ（片岡章記会長）などの関係者が11日、石巻市教育委員会を訪れ、東日本大震災で被災し間借りや仮校舎での授業などを余儀なくされている10小学校に総額250万円の運動用具と図書整備資金を寄贈した。

石巻をはじめ、滝川（北海道滝川市）、太田西（群馬県太田市）、静岡けやき（静岡市）、東京麻布（東京都大田区）、栗林（高松市）の計6クラブが支援協力。

対象は門脇、湊、湊二、渡波、大川、雄勝、船越、相川、吉浜、谷川で、地元運動具店で購入した跳び箱や竹馬、ライン引きなどの運動用具、図書整備資金を送った。

片岡会長が支援の経過を説明した後、境直彦教育長が感謝の言葉を添えながら「未来を担う子どもたちのために万全を期していきたい」と話した。

片岡会長、松尾崇憲太田西ライオンズクラブ会長が、それぞれの校長や境教育長に目録を手渡した。

松尾会長は「地元に帰ってこの様子を伝え、また支援ができるようにしたい」と意欲を示した。

市教委によると市内64小中学校のうち14校が被災。被害総額は160億円に上り、再建に向けて取り組んでいる。

石巻市立相川小学校からも当クラブに礼状が届きました。

郵便はがき

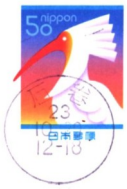
073-0022

北海道滝川市大町一-八-一

産経会館三階

滝川ライオンズクラブ

御中



宮城県石巻市北上町長尾字松崎一

橋浦小学校内

石巻市立相川小学校

9860203

インクジェット紙はがき

未曾有の東日本大震災から早くも七ヶ月が過ぎました。津波は相川小学校の屋上まで襲い、校舎は全く使えない状態になりました。そのため地区内で唯一残った橋浦小学校に同じ被害を受けた古浜小学校と三校一緒に学習することになり、心に深い悲しみや辛さを抱えた子供たち、保護者、地域の方々、職員が学校再開に向け努力を重ね、四月二十一日に始業式、入学式を行い二十三年度のスタートを切りました。橋浦小学校へ通う道の安全に不安がある子供たちは、相川地区の避難所で学習するという状態を並行して行ってきました。その子どもたちもやっと橋浦小学校に通うようになり、全員そろっての本当の相川小学校のスタートは五月十九日からでした。また、そのような中、全国の多くの方々から心温まるメッセージや支援物資をいただき、何もかも無くしてしまった子供たちは、鉛筆一本、ノート一冊にもありがたみを感じながら、再開できた学校生活の中で、学習できる喜びを味わってきました。三校の各学年が一つの教室で学ぶという特異な状態にも慣れ、新しい友達の輪や学習することの楽しさを感じてもきました。

六月五日には、三校合同の運動会を開催し、保護者・地域の方々に元気な姿を見てもらうこともできました。七月二十一日から夏休みに入り、三十一日には辛いにも見つかった泥で汚れた卒業証書と再発行した卒業証書の二枚を前校長より手渡す卒業式を行いました。そして、八月二十二日から、少し早い二学期がスタートし、子供たちは元気に学芸会に向けての学校生活を送っています。

皆様方のますますのご健勝をお祈りしつつ、相川小学校も復興に向け「笑顔で前向きに！」進んでいくことを誓いたいと思います。今後ともよろしくお願い申し上げ、とりあえずの御礼とさせていただきます。

平成二十三年十月

宮城県石巻市立相川小学校　校長　橋本　惠司

たくさんの支援、大変ありがとうございます。
有効に活用させていただきます。

（津波に襲われた校舎）

〈震災前の校舎〉